

事務事業名	緊急雇用創出事業道水路維持管理事業		所属部局	建設部		単位番号	7114							
			所属課室	道路整備課		課長名	入倉隆士							
			所属担当	維持担当		担当者名	時田一直							
基本政策	基本計画体系	11	うるおいと利便性のある都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目			
		18	道路網の整備		01	一般	0	8	0	2	0	1	0	8
政策			生活関連道路の整備	事業区分	☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☒ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☐ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金									
施策														
事業期間	☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始年度 年度)			法令根拠										
	☒ 期間限定複数年度 (年度 ~ 24 年度)													
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 ・直営・・・市道、水路等市の管理施設を良好に保全するため、清掃除草溢水防除、軽微な修繕作業及び市内のパトロールを行う。 ・委託・・・市道、水路等市の管理施設を良好に保全するため、街路樹維持、街路樹の除草、落ち葉の撤去、水路周辺の除草等を行う。				事業費の主な内訳 (22年度)									
					項目(細節)		金額(千円)		項目(細節)		金額(千円)			
					人件費		3,933							
									計		3,933			

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

活動	
22年度活動実績	宣・・・道水路の維持管理及びパトロール 委・・・街路樹維持、植栽樹等の維持
23年度活動予定	
対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
・道路利用者 ・市民	
意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	
・安全に通行できるように	
上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
・安全で快適に通行できる ・生活環境が保全される	

活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 維持施工	箇所
イ	
ウ	
対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 人口	人
イ	
ウ	
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 修繕箇所数/必要箇所数	%
イ	
ウ	
上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 道路整備に関する住民の満足度	%
イ	

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円	12,553	6,156	18,871				
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円							
		事業費計 (A)	千円	0	12,553	6,156	18,871	0	0	0	
	人件費		正規職員従事人数	人		4	2	2	2		
			延べ業務時間	時間		1,500	700	700	700		
			人件費計 (B)	千円	0	6,692	2,773	2,773	2,773	0	0
			(A) + (B)	千円	0	19,245	8,929	21,644	2,773	0	0
活動指標			アイウ	箇所		120.0	120.0	120.0	120.0		
			アイウ								
対象指標			アイウ	人		72,692.0	72,833.0	72,900.0	73,000.0		
			アイウ								
成果指標			アイウ	%		100.0	100.0	100.0	100.0		
			アイウ								
上位成果指標			アイ	%		100.0	100.0	100.0	100.0		
			アイ								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	H22・9月頃国の背景により実施
事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	
事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	管理等行って、期待をされている。

(4) 改革改善の取り組み状況

改革改善の取り組み実施は?	☒ 取り組みしている 【内容!】 ☐ 取り組みしていない 【理由!】
これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	緊急雇用自体の事業が新規に事業化され事務上戸惑いがあった。
H 22年度に実施した改革改善の内容	

事務事業名	緊急雇用創出事業道水路維持管理事業	所属部	建設部	所属課	道路整備課
-------	-------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) 【理由↓】 ☒ 結びついている 【理由↓】 道路の維持補修により快適性や安全性を確保することは、道路環境に結びつく。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある 【理由↓】 ☒ 妥当である 【理由↓】 この事業は、国の背策のため、市には影響なし	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある 【理由↓】 ☒ 適切である 【理由↓】 地域住民のうおいと利便性の向上を目標に進めているので妥当である。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
有効性 評価	成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある 【理由↓】 ☒ 向上余地がない 【理由↓】 必要最小限の人員と時間において執行しているので余地がない。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある (類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる 【理由と具体案↓】 ☒ 統合・連携ができない 【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり 【理由と影響の内容↓】 作業班での仕事だから影響なし	☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない 【理由↓】 作業班での仕事だから影響なし
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 ☒ 削減余地がない 【理由↓】 事業自体の市の考え	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 ☒ 削減余地がない 【理由↓】 事業自体の市の考え	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
公平性 評価	受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある 【理由・具体案↓】 ☒ 公平・公正である 【理由↓】 補修整備であり、受益者は市民全体となるため公平、公正である。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	緊急雇用創出事業によって、21年度より2名の雇用により市職員と4名体制で道水路維持管理を行っており非常に成果がでている。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
☐ 廃止(目的妥当性 、 、 の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性 の結果) ☐ 公平性改善(公平性 の結果) ☐ 休止(目的妥当性 、 、 の結果) ☐ 成果向上(有効性 の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性 、 、 の結果) ☐ コスト削減(効率性 、 の結果)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr> <tr> <th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr> <th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr> <tr> <th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr> </table> 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	☐	☐	☐																		
	維持	☐	☒																			
	低下	☐																				
(2) 改革改善案について																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td><td></td></tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td><td></td></tr> </table>	成果優先度評価結果		コスト削減優先度評価結果																		
成果優先度評価結果																						
コスト削減優先度評価結果																						